



西脇市Facebookでも情報発信中！紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。



発達障害への理解深める

障害者差別や合理的配慮を考える啓発イベントで、ひょうご発達障害者支援センター・クローバー加西ランチ課長の平生尚之さんが、発達障害の特性や当事者との関わり方を解説。「大切なことは、まず相手を理解しようとする姿勢。当事者が安心できる雰囲気をつくってほしい」などと助言しました。講演後は当事者のトシヤさんとともに登壇し、日常生活での困り事について意見交換しました。〔2月21日／みらいえ〕



息の合った演奏披露し頂点競う

ミュージックベル・トーンチャイムの全国コンテストに、県内外の15団体が出場。息の合った演奏を披露し、頂点を競いました。受賞者は次のとおりです。〔2月22日／市民交流施設〕
 ▶中学生の部 金賞＝フェアリーベル▷銀賞＝リトルフラワーベルBoys▷銅賞＝リトルフラワーベルGirls▷教育長賞＝西脇子ども園（以上、西脇市）▶一般の部 金賞＝Cocoru Bell（奈良県）▷銀賞＝The Charmingチャイム（福井県）▷銅賞＝清教学園ハンドベル部（大阪府）▷教育長賞＝B.Bスイートリー（小野市）▷特別賞＝ミュージックサークルTeam Class 9（静岡県）



黒田庄和牛や日本酒に舌鼓一肉バルに6千人来場

市制20周年を記念して、市の地域食材が楽しめる「肉バル in 日本へそ公園」を実行委員会が開催。親子連れなど約6千人が来場し、さまざまなグルメを堪能しました。

会場では、一頭買いされた黒田庄和牛の焼き肉やステーキなどを特別価格で提供。市内産山田錦を使った日本酒の飲み比べや、市内産イチゴの販売のほか、市内飲食店による出店もありました。

また、全国へそのまち協議会に加盟する市町村の特産品も販売。北海道富良野市や沖縄県宜野座村など、「へそ」や「中心」を標榜する8市町村の珍しい商品が並びました。

イベントに合わせてJR加古川線の臨時列車が運行され、列車が日本へそ公園駅に到着するたびに、イベント会場に向かう多くの来場者でにぎわいました。〔3月14日〕



大学部員が特別講師に

神戸学院大学女子駅伝競走部の7人が特別講師として、西脇ジュニア陸上クラブと西脇アスリートクラブの児童たちを指導。練習後はチームに分かれて外周を走り、一緒に汗を流しました。〔2月21日／都麻の郷交流グラウンド〕



市民作品展に力作並ぶ

春のカルチャーフェスティバルが開幕。市民作品展では、絵画や写真、工芸など計75点の力作が並びました。市美術協会や中学校美術部員らによる作品展も同時開催されました。〔3月7日～8日／市民交流施設〕



強豪校元監督に学ぶ

NPO法人みなみ会主催の講演会に、西脇工業高校元陸上部監督で神奈川大学陸上競技部スカウティングディレクターの足立幸永さんが登壇。生徒との接し方や部員をやる気にさせる指導法を紹介しました。〔3月7日／みらいえ〕



市内産イチゴが学校給食に登場

小中学校の給食に市内産のイチゴが登場。給食を通じて地元食材を知ってもらおうと、特産品を使ったメニューを提供する取り組みの一環で、地元農家が育てたイチゴが白玉やミカン、リンゴとともにフルーツ白玉として提供され、日野小学校の児童らはイチゴを口にして「甘くておいしい」などと感想を述べました。〔3月5日／市内〕



活躍たたえ小中学生に絆賞

スポーツや文化の分野で活躍した小中学生を顕彰する絆賞の贈呈式で、遠藤一博教育長らが功績をたたえました。令和7年度の受賞者は次のとおり（学年は受賞当時）。〔2月19日／市役所〕西脇南中学校3年・桑野紘さん、西脇南中学校3年・松本莉亜さん、黒田庄中学校2年・浅香賢信さん、黒田庄ジュニアバレーボールクラブ、西脇南中学校代表チーム315U、黒田庄中学校吹奏楽部木管三重奏